

◆経済倶楽部講演会第4412回（4月22日）

ソ連崩壊からウクライナ戦争まで — 悲劇の背景 —

神奈川大学特別招聘教授
下斗米 伸夫

- *注目すべきカナダによる軍事支援
- *戦争開始の背景にあるNATO問題
- *ウクライナを巡る近現代史
- *ソ連崩壊時の核管理という大問題
- *ネオコン登場とNATOの東方拡大
- *コソボ紛争との類似性を考える
- *ウクライナでの言語戦争、歴史戦争について
- *ゼレンスキー出現までの経緯
- *バイデン政権とプーチンの関係
- *ウクライナにおけるロシア正教の動き



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）
本日は、神奈川大学の下斗米先生においていただきました。下斗米先生は1948年のお生まれで、東大で博士課程を修了後、政法大学で長く教授をされ、その後、現在の神奈川大学に移られております。ソ連、ロシアの長い歴史をたいへんよくご存じで、この分野で第一人者と言ってよろしいかと思えます。

最近のテレビでは、もうみんなウクライナ頑張れみたいなアピールしか出てこないで、ちょっと歴史的経緯なんかを話すと「おまえはロシアの味方か」なんて言われる、こういう風潮でございます。が、われわれとしては冷静に今起こっている問題がどういうところから来ているのか、少し前の軍事力で全てを解決するような

状況ではございませんので、どういうところを落しどころがあるのか、そこら辺のところを今日は冷静に考える機会をいただけるのではないかと思います。

それでは下斗米先生、よろしく願います。（拍手）

注目すべきカナダによる軍事支援

下斗米 たいまご紹介賜りました、神奈川大学の下斗米と申します。

この2月24日に始まります愚行といいますが、国際法的な意味での、あるいは国連憲章に違反する戦争、こういったものがなぜ起きたんだろうか。私は始まるちょうど13日前、バイデン大統領が突然西側大使館をキエフから今のリビウ、